

日本
共産党

八幡市議会 報告ニュース

2019年2月10日 No.665

日本共産党八幡市議会議員団（983）2005

くらしの相談 お気軽に

山本邦夫市議 982・8844

巖 博市議 982・9663

亀田優子市議 982・1277

中村正公市議 983・8312

市議団メール jcp-ywta@am.wakwak.com

栄養教諭

子どもの医療費助成

高校生通学補助

府の子育て支援 一步前進へ 森下府議、八幡市議団の連携で

日本共産党市議団と森下府議の連携で、栄養教諭の増員、子どもの医療費助成、高校生の通学費補助の拡充で一步前進しました。

栄養教諭増員 府配置4人から6人へ

2017年5月から中学校給食が始まりました。日本共産党は、府議会、市議会ですべての給食調理場のある小学校に配置すべきです。

府の子どもの医療費助成

月3000円→月1500円に引き下げ

子どもの医療費助成制度は、京都府が月3000円を超える医療費を助成する制度です。京都府は、来年度から月1500円超に引き下げます。八幡市では、医療費の差額分を市独自の努力で負担し、中学校卒業までの

無料化を実施しています。府が制度拡充をおこなえば市の負担が軽くなり高校卒業までの無料化が可能となります。

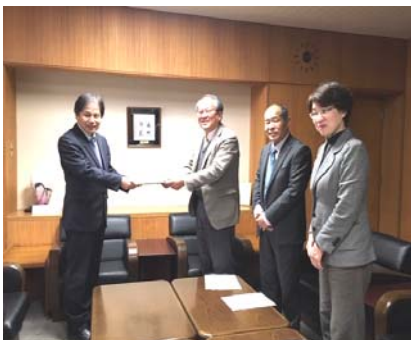
12月市議会で、日本共産党が高校卒業までの無料化を求めたところ、市は「府内で統一した制度が望ましい」と消極的な答弁をしました。引き続き、高校卒業までの無料化をめざして頑張ります。

高校生通学補助 月1万円超を対象に

高校生の通学区域が広域になり、保護者の通学費負担が大きくなっています。府は定期代が月1万7000円を超えた額の半分を補助していますが、八幡市では、これまで補助を受けられたケースは、わずか1例しかありません。

府の来年度予算案では、月1万7000円から1万円に引き下げ、改善されます。しかし住民税非課税世帯に限定しているため、適用世帯が限られ、改善が必要です。

子育て支援、若者の雇用、くらし、福祉、教育、まちづくり、地域経済…



項目を抜粋しています)

要望書は、消費税増税、原発、戦争法など国政に関すること、防災対策、小児夜間救急、国保料、後期高齢者医療、介護保険の保険料引き下げ、水道料金引き下げなど、ただちに取組む対策として21項目を要望しました。また、分野ごとには、子育て支援、若者の雇用、くらし、福祉、教育、まちづくり、地域経済など6分野94項目を要望しました。(裏面に要望

八幡市へ
予算要望を提出

日本共産党八幡市議員団は、1月28日、八幡市の来年度予算編成に向けて、要望書を提出しました。